

平成22年度京都府立峰山高等学校弥栄分校 学校経営計画（まとめ段階）

学校経営方針（3～5年の中期経営目標）	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>全教育活動をとおして、生徒・教職員がともに成就感と感動を味わえる、明るくさわやかな学校づくりに努める。</p> <p>[地域と連携した弥栄キャンパスの教育] きめ細かな指導による、校種間、専門機関と連携し、地域と一体となった教育の推進</p> <p>[ものづくりを生かした教育と個性を伸ばす教育] 農業の多面的機能を視野に入れた農業教育の実践 家政科における生活産業分野で活躍できる人材の育成</p> <p>[自立精神の育成] 人を大切に、同時にモノを大切に作る人材の教育</p> <p>[特別教育活動の充実] 部活動や生徒会活動を活性化し、集団の一員としての規律・マナーの育成</p>	<p>[成果] 専門学科の特性を生かした地域と連携した活動の推進した。（奈良丘祭、ボランティア活動など） 学校評価による学校改善点を明確にした。 特別支援の視点も含めた指導のあり方の研修を深めた。 個々の生徒に応じた早期進路実現を図った。 社会人講師の活用による魅力ある授業の創造を実践した。 生徒授業評価を活用した「わかる授業」の追及を図った。 奈良丘通信、学年通信による広報活動を推進した。 年間漢字テストの改善を進めた。</p> <p>[課題] わかる授業につながる一層の授業改善と評価方法の研究 1限目の遅刻・欠席に現われる生活面に課題を持つ生徒への継続的・組織的な指導 社会人として通用するマナー指導（継続的指導） 他者への思いやり（不快な思いをさせない等）の育成 特別活動、農家クラブ活動、部活動の活性化 配慮を要する生徒への課題を明確化した組織的な連携・支援活動</p>	<p>「わかる授業」づくりと学習習慣の定着指導</p> <p>専門学科の特長を生かした地域連携・ボランティア活動の推進</p> <p>社会人として通用するマナー指導の推進</p> <p>ルールとマナーを守る規範意識・道徳意識向上の推進</p> <p>保護者への連絡徹底と連携した指導の推進</p> <p>配慮を要する生徒への定期的な指導、きめ細かな指導の推進</p> <p>生徒に満足感・達成感を持たせる学校行事の精選と推進</p>

分掌名	評価領域 (業務領域)	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価	成果と課題	
0	全体	組織・運営	組織間の連絡・協力体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・教科・学年間の連絡を密に行い意思疎通と連携を強化する。 ・快適な職場環境の確立を目指し、日常点検を励行する。 	B B B	各分掌と緊密な連携をとりながら学校運営ができた。
1	教務部	学力の向上	学習の姿勢の確立、家庭学習の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・週末課題を出す。 ・学ぶ姿勢を確立させ、学習習慣を付ける。 ・学力の向上を図る。 	B C C	<ul style="list-style-type: none"> ・出題・添削できた。 ・課題で習慣がついた。 ・学ぶ姿勢・意欲が課題。
2	生徒指導部(含む人権教育部)	生徒指導(特別活動を含む)	主体性・協調性・責任感の育成と規範意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事を計画的に実施する。 ・生徒会・委員会・部活動の活性化に向け支援する。 ・生徒心得を遵守させる。 	B B C	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事とも成功であった。 ・心得遵守は特別指導激増未解決事件多発など課題が残った。
		人権教育	生徒・教職員の人権意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・早期に年間計画を作成する。 ・計画的に人権学習を行う。 	A B	計画的に実施できた。独自にアンケートを実施したが今後は検討が必要。

3	進路指導部	進路指導	希望進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の生徒も含め、全体集会などで進路の話を摺る機会を増やす。 ・生徒の進路希望を早期に把握し、情報提供と適切アドバイスをする。 ・職業安定所からの情報や企業訪問等を通じて求人情報の把握に努める。 ・インターンシップを実施する。 	B B B C	B B B C	B	3年生については学年団の指導の成果もあり、かなりの生徒について進路希望を実現できた。 低学年の生徒に対しては不十分な点があった。
4	保健部	健康・安全教育	健康の保持のために必要な実践力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・面談を実施し、健康診断の結果を有効に活用する。 ・安定した生活習慣・食生活の確立のため、保険だよりや掲示板を利用して情報発信する。 ・特別支援教育を推進する。 	A B A	B C A	B	面談の実施により、実態把握に努めたが、実生活に結びついたものにはつながらなかった。特別支援については、一歩進んだ取り組みで共通理解につながった。
5	図書情報部	読書指導等	読書習慣の定着と図書および芸術作品を通しての豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・読書推奨のために、年1回の「読書の時間」を設定する。 ・情報の共有および図書館利用を活性化させるために案内・冊子を発行する。 ・情操教育の一環として芸術作品に触れる機会を設定する。 ・公立図書館との連携を図る。 	A C C A	A B B A	B	読書週間前後に貸出数が増加。1人当たりの貸出数はUPした。立志の発行が利用促進につながった。 芸術鑑賞は効果が上がった。
6	農場部(含む教科)	学科・教科指導	授業や実験実習、校外研修などにおけるルール・マナーの向上。	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の安全性を図るため、服装・髪などの指導を行う。 ・丹後あじわいの郷「フルツワ-ガーデン」等におけるボランティア活動の継続。 ・地元幼稚園児に対する草花の栽培支援。 	B B B	B B B	B	3年生の授業を中心に幼稚園・あじわいの郷、また課題研究では地元研究機関との交流もできた。
7	家政部(含む教科)	学科・教科指導	生徒の進路実現に向けて、生活産業で必要とされる基礎力を定着させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎知識・基礎技術のテストを定期的に行なう。 ・授業・行事の中で、キャリア教育を実践する。 ・生徒に自信を持たせるための行事の見直しを行なう。 	B B B	A A B	A	行事の精選を考慮に入れ、見直しができてよかった。キャリア教育を取り入れた家政科教育の推進をさらに検討していく
8	庶務部	円滑な校内運営の推進・開かれた学校づくり	行事のスムーズな運営とPTA活動の活性化を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係分掌と連携をとりながら行事を円滑に進める。 ・PTA活動への参加を促す。 	B C	B C	B	協力を得ながら進めることができた。 学年により温度差があり参加率が低くなり課題が残った。
9	第1学年部	生活指導	規律ある高校生活ができるように指導し、一人一人の自立を促す。	<ul style="list-style-type: none"> ・無断欠席、遅刻・早退がないように指導する。 ・生徒面談や家庭との連携を密にし生徒理解に努める。 ・学級経営を通して生徒の協調性を養う指導を心掛ける 	C B B	C B B	B	学年として他分掌と協力し指導にあたったが、成果はあまり上がらなかった。
10	第2学年部	HR指導	学習習慣の定着と、規律ある生活習慣の確立。	<ul style="list-style-type: none"> ・成績をあげる努力をする。 ・進路目標を決定する。 ・家庭との連携による適切な指導を行なう。 	B B B	C B B	B	面談・適性検査が実施できた。 学年通信を毎月発行した。

11	第3 学年部	進路指導	個々の進路目標の達成。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力を上げ、社会に出る力をつける。 ・自分の役割が責任を持って果たせる。 ・敬語を使う。また、マナーの向上を図る。 ・進路部・家庭との連携を図り、適切な指導を行なう。 	B B B B	B B B A	B	進路部と連携し、全員の進路決定ができてよかった。クラスの数差の問題が大きく課題が残った。
12	事務部	施設・設備 管理	安心して安全な校内生活環境の整備の促進と維持に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の安全点検等を行う。 ・施設設備等の自主点検の実施及び組織的な定期的巡回に努め、危険箇所等の早期発見及び早期改善に努める。 	A A	A A	B	施設設備の改善等を積極的に実施した。来校者に対してできる限り丁寧に対応した。不審者の侵入に課題がある。
		組織・運営	来校者・電話等の対応に対し、円滑で適正な窓口業務を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・来校者や電話等に対して、親切・迅速・丁寧に対応する。 ・不審者の侵入阻止をするため、その確認等及び把握のため記録簿等の記入徹底。 	A C	A C		

教科名		評価領域 (業務領域)	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価			成果と課題
13	国語科	学習指導	国語を的確に理解し適切に表現する能力の育成。	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字指導を継続的に行なう。 ・図書情報部と連携して読書指導を強化する。 ・作文指導を強化し、コンクール等に多数応募する。 	B B A	B B A	B	各種コンクールに応募し大賞・優秀賞など14名が表彰された。漢字も継続的に指導できた。
14	地歴・ 公民科	学習指導	わかる授業と基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・問いかけのある授業を行う。 ・具体的な教材を整備する。 ・基礎学力テストで、基本の力を付ける。 	B A B	B A B	B	具体的教材・問いかけのある授業で意欲出た。1年生は学び姿勢が課題。
15	数学科	数学 数学	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律を守り、積極的に学習に取り組む姿勢を育てる。 ・基礎学力の向上を図り、達成感を体験させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のルール・マナーも成績に反映する。 ・板書は見やすく工夫する。 ・練習問題を増やし、生徒間で教え合う時間を設ける。 ・宿題を適度に出し、家庭学習を促し、点検をする。 ・ミニテストできるだけ行う。 	B B B	B B B	B	計画していた方策は実行できたが、生徒間の格差が大きかったこと、生徒の集中力の維持などには大きな課題が残った。
16	理科	学習指導	自然の事物・事象について科学的に探求する能力と態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの自然と環境について理解を深めさせる。 ・実験の時間を確保する。 ・視聴覚教材を活用する。 	B C B	B C B	B	自然災害と防災の意識を高めることができた。演示実験はできたが、生徒実験は少なかった。
17	保健 体育科	学習指導 ・体育	各運動領域に必要な身体感覚や運動技能・運動技術の習得と、積極的に運動に親しむ資質や能力の育成。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目の特性に合った感覚づくりを準備運動に取り入れる。できるようにするための指導の順次性を研究する。 ・グループ（チーム）学習で、協力したり責任を果たすことを学ばせる。 ・生涯を通じてスポーツに親しむための資質を養う。 	B	B	B	スキルテスト、ゲーム結果、グループノートの記入などほぼ達成できた。また、レポートの作成、調査活動もほぼ全員が達成できた。
		・保健	個人及び社会生活における健康についての理解を深め、心身の健康の保持増進の実践力の育成。	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国における健康の現状を理解させる。 ・「性」について人間の生と関連させて理解させる。 ・自然環境と健康についての課題学習を実施し調査とまとめの仕方や発表を学ばせる。 ・働くことと健康の問題を理解させる。 	C	C	C	集団の中で状況を把握し行動する力の育成、ビデオ教材などの活用が課題。

18	英語科	学習指導	<p>外国語や外国の文化に興味を持たせ、英語の基礎的な力をつける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講座や生徒の学力に応じたプリントの活用。 ・板書や説明を工夫する。 ・AETとのチームティーチングを通して英語への興味づけを図る。 	A B B	A B B	B	<p>日常的なプリント点検で授業への取組を重視できた。何もしない生徒への対策が課題である。</p>
<p>次年度に向けた改善の向性</p>		<p>重点目標の達成に向けて、具体的方策を実施しその達成状況を把握するとともに課題を明らかにし評価していく。次年度において、具体的な課題を元に目標を設定し、目標が達成できるように改善していく。</p>						